

# 看護学校だより

浜田医療センター附属看護学校 <http://www.hamakan-nh.jp/>

平成27年度 第61期生卒業式

平成28年3月4日(金)



## 3年生 3年間を終えて

61期生(3年生)  
渡辺 結衣



看護学校に入学し、約3年が経ちました。入学当初から専門的な講義が多く、実習においても様々な患者様と関わらせていただく中で自分の知識が足りないことを痛感する場面が多かったです。そのような時に、友人や先生方そして受け持ち患者様に支えられ自分なりに看護を楽しんで学べたことで自分自身の成長を感じられ、また、経験したことの全てが学びになっていたのではないかと実感しています。

今までは学生として、守られる立場で実習をさせていただいていましたが、今後は1人の看護師として働くことになるため今まで以上に責任があります。また、看護技術に対する不安や知識不足を感じる場面も必ずあると思いますが、常に学ぶ姿勢を大切にしながら今まで自分が学んできたことにも自信を持って看護をしていきたいと思っています。私は看護学校の3年間で多くの友人や先生方、地域の人々、患者様、医療職者の方々と関わらせていただき、ますます人と関わることが好きになりました。これからも出逢いを大切にし、感謝の気持ちを持ちながら看護師の道を歩んでいきたいと思っています。

## 3年生 第105回看護師国家試験を終えて

61期生(3年生)  
隅井 成美



平成28年2月14日、私たち61期生34名は第105回看護師国家試験を無事に受けることができました。今は支えてくださった多くの方々に対する感謝の気持ちでいっぱいです。ここに至るまでの道のりを少しふり返ってみたいと思います。

3年生に進級する直前の3月、私は大島君と一緒に国家試験対策委員長になりました。

『全員合格』という目標を掲げ、学生主体でミニ講義を計画したり、グループワークを行ったりと切磋琢磨してきました。実習の合間に模擬試験を受けましたが、あまりの出来の悪さに愕然とすることもありました。私自身、なかなか苦しい受験勉強に身が入らない時期もありましたが、今まで実習でお世話になった患者様のことを思い出しながら勉強に取り

組んだことで乗り切ることができました。クラス全体としては、時に弱音を吐くこともありましたが、声を掛けあい、得意分野を担当してお互いに教えるなど、支え合うことができました。

国家試験勉強は大変でしたが、これを仲間とともに乗り切ったことで大きな喜びがありました。今後、臨床現場で働きますが、常に学ぶ姿勢を持ち、信頼される看護師になっていきたいと思っています。



出雲大社石見分詞で合格祈願



先輩からの激励(写真左から：隅井、大島、右2名：卒業生)



いただいたお守り等々に願いを込めて☆